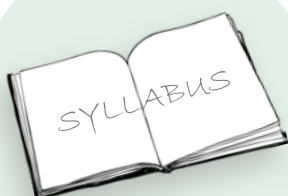




高校生を対象とした公開授業科目(第1学期) 履修案内(シラバス) ~2025年度版~



「シラバス」とは・・・

シラバスとは、各授業科目の詳細な授業計画のことです。
一般に、授業名、担当教員名、講義目的、
各回ごとの授業内容などが記されており、
学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるものです。



香川大学 マスコットキャラクター

【お問い合わせ】

香川県教育委員会 高校教育課 教育指導グループ

〒 760-8582 高松市天神前 6-1

TEL 087-832-3750 FAX 087-806-0232

香川大学 教育・学生支援部 教育企画課

〒 760-8521 高松市幸町 1-1

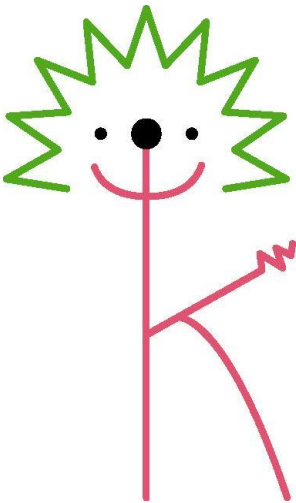
TEL 087-832-1147 FAX 087-832-1155

※授業内容に関するお問い合わせは香川大学まで

【公開授業科目（第1学期）】

授業科目名	教養/専門(注1)	担当教員	期間(注2)	曜日	時間	頁
学習環境の現在と未来	教養教育	笹屋 孝允 (教育学部)	4月14日～6月9日 (計8回)	月	16:20～17:50	1
民法入門	専門教育	深沢 瞳 (法学部)	4月15日～7月22日 (計15回)	火	16:20～17:50	2
刑事法入門	専門教育	平野 美紀 (法学部)	4月14日～7月28日 (計15回)	月	16:20～17:50	3
政治学入門	専門教育	金子 太郎 (法学部)	4月11日～7月25日 (計15回)	金	16:20～17:50	4
現代企業論(夜間主コース)	専門教育	張 暁紅 (経済学部)	6月12日～7月31日 (1日2回、計15回)	木	18:00～19:30 19:40～21:10	5
(特)ゲーム理論(夜間主コース)	専門教育	天谷 研一 (経済学部)	6月10日～8月5日 (1日2回、計15回)	火	18:00～19:30 19:40～21:10	6
経済学入門B(夜間主コース)	専門教育	沖 公祐 (経済学部)	6月16日～8月4日 (1日2回、計15回)	月	18:00～19:30 19:40～21:10	7

- (注1) 香川大学の教育は、特定の専門分野に限定されない幅広い知識・能力を養う「**教養教育(全学共通科目)**」と、専門職業人を養成するための「**専門教育(学部開設科目)**」によって構成されています。
1年次の間は教養教育を中心に、2年次以降は専門教育を中心に学びます。
- (注2) 授業スケジュール編成の都合上、一部の授業においては、通常とは異なる曜日に開講したり、休講になったりすることがあります。
詳細は、8～9ページの「2025年度行事予定表」をご参照ください。
(昼間と夜間主コースで授業スケジュールが異なります。お間違えのないようにお願いします。)
- (注3) 一部の授業またはすべての授業が遠隔実施となる場合があります。
その場合はパソコンとインターネットの通信環境が必要となります。
- (注4) 初回授業の前にガイダンスを行います。初回が対面授業の場合は、開始20分前に香川大学幸町北キャンパス大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
初回が遠隔授業の場合は、別途お知らせいたします。

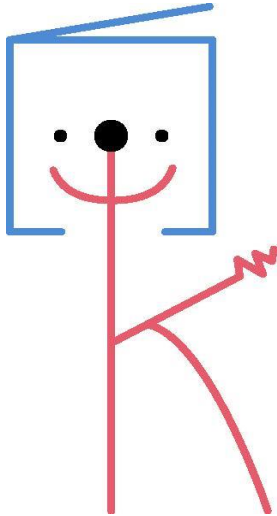


大学の授業には、いろんな「気づき」があるよ。
その「気づき」を高校に持ち帰ってみよう。
高校の授業の見方も変わってくるはず！
大学生との交流も良い刺激になるよ！

【第2学期の公開授業(予定)】

- ・政治思想(専門/法学部)
- ・経済学入門A(夜間主コース)(専門/経済学部)

このほか、教養教育も充実しています！
また、夏の数日だけで行う「体験授業」もあります。



授業科目名 学習環境の現在と未来 Learning environment	時間割 4月14日(月)～6月9日(月) 毎週月曜日 16時20分～17時50分(計8回)
担当教員名 笹屋 孝允	初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
学習時間 演習90分間×8回＋自学自習(準備事後合計30時間)	
授業の概要 現在・未来の学習環境の1つとなる、授業動画コンテンツを作成します。小・中・高等学校の教師になりきって、「AI」を活用した授業を行う数分間の動画を、グループで協働しながら作成、編集します。高校生も大学生と一緒にグループを組んで活動します。 この科目では、課題探求のプロセスに実践を通じて関与することができます。(D科目) 【キーワード】 学習環境, ICT教育, AI	
授業の目的 この授業は、受講生が主体的に活動する授業です。 現在、教育のICT化が急速な勢いで進められています。一方、ICTやAIのメリットを生かした、個別具体化の教育の必要性も叫ばれています。この授業では、授業動画の作成、編集を通して、ICTスキルだけでなく、教師としての授業スキルも習得することを目的にしています。	
到達目標 ・小中学校の教師としての授業スキルを習得する ・動画作成、編集を通して、ICTスキルを習得する ・動画作成、編集を通して、グループで協働する態度を身につける ・今後の学校教育に関する展望を持つことができる	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス	
【授業計画】 (1)オリエンテーション (2)授業の組み方と動画編集方法の講義 (3)グループワーク① (4)グループワーク② (5)中間報告会 (6)グループワーク③ (7)グループワーク④ (8)最終報告会 【授業及び学習の方法】 ・グループワークが主体の授業です。 ・原則対面で行いますが、教育効果を高めるためにオンライン授業を採用する場合があります。 【準備学習及び事後学習のためのアドバイス】 (1)授業動画作成及び、その準備(4時間) (2)授業動画作成及び、その準備(4時間) (3)授業動画作成(4時間) (4)授業動画作成(4時間) (5)授業動画作成(4時間) (6)授業動画作成(4時間) (7)授業動画作成(4時間) (8)最終レポートの作成(2時間) ・個々で課題が異なることが予想されるため、内容は各グループの活動に合わせます。	
教科書・参考書等 教科書等は特にありません。必要な資料は授業中に提示します。 ノートパソコン必携です。スマートフォン等も所持していれば活用します。また、連絡用のメールアドレスを取得しておいてください。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ グループワークが主体のため、メンバーと協力しながら授業に参加できることが受講条件です。授業時間外にもグループワークを行う必要があることを理解した上で受講してください。	

授業科目名 民法入門 Introduction to Civil Law	時間割 4月15日(火)～7月22日(火) 毎週火曜日 16時20分～17時50分(計15回)
担当教員名 深沢 瞳	5月1日(木)、9日(金)は振替授業で火曜日の授業になりますので、授業はあります。4月29日(火)、5月6日(火)は、祝日で授業はありません。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回＋自学自習(準備学習30時間＋事後学習30時間)	
授業の概要 【授業の内容】 民法は、不動産の購入、借金の連帯保証、アパートの賃貸、他人に怪我をさせてしまった場合の損害の賠償責任、結婚や相続など、私達の日常生活に密接に関わる身近な法律です。この授業では、民法の全体像を理解することを目的として、民法の体系を意識しながら学習します。 【他の授業科目との関連】 この授業は、1年生後期より開始する民法Ⅰ～Ⅳの橋渡しとなる科目です。	
授業の目的 民法の基本的な知識を学習し、民法の全体像を理解することを目的としています。また、民法Ⅰ～Ⅳの履修に向けて、基本的な知識を獲得することも本講義の狙いです。	
到達目標 受講者は、①民法に関する基礎的な知識を習得するとともに、②それを用いて社会的紛争を法的に分析・批判する能力を獲得し、③自らの考えを論理的(法的)に組み立て・表現する能力を体得することができます。	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス 本授業は、原則対面により実施します。なお、状況によっては全て又は一部の回の授業形態を遠隔に変更する可能性があります。ただし、授業内容や順序を変更する場合があります。 【授業計画】 第1回 ガイダンス 第2回 契約について 第3回 契約の種類 第4回 契約の履行 第5回 契約の不履行と履行の強制 第6回 代理人による契約 第7回 売買以外の契約 第8回 所有権 第9回 所有権の取得 第10回 不法行為 第11回 夫婦 第12回 親子 第13回 高齢者 第14回 相続 第15回 まとめ 【授業の進め方】 担当者が作成したレジュメに基づき行います。レジュメはMoodleにて事前に配布しますが、紙媒体での配布は行いません。各自、データのダウンロードや印刷などの上、講義に参加して下さい。特定の教科書は指定しませんが、1冊手元にあると学習に役立ちます。詳しくは初回授業の際に説明します。 【学習の方法】 予習：時間のある方は参考書等の該当箇所を事前に読んできて下さい(30分～1時間程度) 復習：授業で取り扱った内容について読み返す、分からなかった部分は調べるようにして下さい(1時間程度)	
教科書・参考書等 初回授業の際、説明します。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 【履修上の注意】 ：六法は必ず持参して下さい。 【担当教員からのメッセージ】 この授業では、民法との基本知識の習得を通じて、民法の体系や全体像の理解することを目指しています。民法は総則、物権、債権、親族及び相続と幅広い分野をカバーする法律ですが、一つひとつ知識を蓄積し、理解を深めていきましょう。	

授業科目名 刑事法入門 Introduction to Criminal Law, Criminal Procedure law, Criminal Policy and Victimology	時間割 ４月１４日（月）～７月２８日（月） 毎週月曜日　１６時２０分～１７時５０分（計１５回） ７月２１日（月）は祝日ですが月曜日の授業日で、授業はあります。 ５月５日（月）は祝日で、授業はありません。
担当教員名 平野　美紀	初回はガイダンスを行いますので、開始２０分前に大学会館２階（１０ページ参照）にお越しください。
学習時間　講義90分　×　15回　＋　自学自習（準備学習 15時間 ＋ 事後学習 30時間）	
授業の概要 毎日たくさんの犯罪事件が報道されています。みなさんの周囲にももしかすると犯罪事件が起きているかもしれません。また裁判員制度も開始され、犯罪事件や裁判をより身近に感じ、そして刑事司法に変革が求められる時代です。本授業では、①1年次後期の刑法各論Iの導入として、そして2年次以降に学ぶ刑法総論・各論II・刑事訴訟法、少年法の枠組みにあたる基礎的な知識を身につけること、そして、②他の授業では扱われることが少ない犯罪者の処遇や社会復帰、被害者にかかわる法制度を学ぶこと、具体的には、法務省が現在力を入れている再犯防止対策や、刑務所等での処遇に関して定める刑事施設収容法、仮釈放で刑務所出所した後の保護観察制度等を定める更生保護法、20歳未満の少年が犯罪行為等を行った場合に関する少年法、犯罪被害者の権利や関連する法制度とその運用を学びます。また、近年問題になっている、家庭内における犯罪としての児童虐待やDVの防止、精神障害を有する者が重大事件を行った場合の処遇制度についても扱います。	
授業の目的 刑法や刑事訴訟法などの刑事法を学ぶ上で必要な基礎知識を身に付け、刑事司法の全体像を理解できるようし、また今後の刑事司法上の課題を理解していくために、次の４点を目標とします。 ①刑事法にかかわる法律の基礎を習得する。 ②刑事司法の仕組みを理解する。 ③犯罪者処遇や被害者支援の法制度を学ぶ。 ④現代社会における刑事司法の課題について関心を深める。	
到達目標	
①刑事法にかかわる法律と刑事司法の仕組みについて、説明できる ②犯罪者処遇や被害者支援の法制度について、説明できる ③現代社会における刑事司法の課題について、自分の考えを説明できる	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス	
教科書・レジュメに基づいた講義形式で行います。 ゲストスピーカーによる講義も予定していますが、ゲストスピーカーの日程調整のため、順序は変更の可能性があり ます。 (1) ガイダンス：刑事法とはなにか、刑事司法の仕組み (2) 犯罪と刑罰について その1：現代日本の犯罪現象と再犯防止 (3) 犯罪と刑罰について その2：刑法の存在意義と刑罰の種類、刑罰の決め方 (4) 刑法の基礎 (5) 犯罪論の基礎（構成要件・違法性・責任）その１：犯罪の成立要件と構成要件 (6) 犯罪論の基礎（構成要件・違法性・責任）その２：違法性阻却事由と責任能力 (7) 故意・過失・共犯 (8) 【小テスト】と解説 (9) 加害者の施設内処遇と社会内処遇 (10) 少年法と非行少年の処遇 (11) 被害者の支援制度 (12) 犯罪被害者の方による講演会：犯罪被害者支援について【小レポート対象】 (13) レポートの講評。現在の課題（家庭内犯罪としてのDV・児童虐待と医療観察法） (14) 講演会：現代社会と再犯防止【最終レポート課題】（時間延長の可能性あり） (15) まとめ * この科目は基本的に対面授業を行います。	
【学習の方法】 予習について：初回授業でレジュメを配布し、教科書も指定していますので、予習を中心に行うことを推奨します。 復習について：配布する練習問題（チェックシート）で自分の理解度を確認してください。授業中に解説します。やむを得ず欠席した場合には、Moodleで授業の進行を確認しながら自学しておいてください。 【自学自習時間の目安】（準備学習 各回 1 時間程度 + 試験準備やレポート執筆も含めて事後学習 35時間程度）	
教科書・参考書等 教科書：井田良『基礎から学ぶ刑事法（第6版補訂版）』有斐閣アルマ（有斐閣、2022）1,800円 参考書（必須ではありません）：『法律用語辞典（第5版）』（有斐閣、2020）	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 日ごろから、新聞等で報道されている犯罪事件や刑事裁判について関心をもっていてもらいたいと思います。	

授業科目名 政治学入門 Introduction to Political Economy and History	時間割 4月11日（金）～7月25日（金） 毎週金曜日 16時20分～17時50分（計15回） 5月9日（金）は、火曜日の振替授業になるため、授業はありません。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階（10ページ参照）にお越しください。
担当教員名 金子 太郎	
学習時間 講義90分×15回＋自学自習（復習に毎回1時間）	
授業の概要 現在の日本では様々な自由（信教の自由、思想・信条の自由、報道の自由など）が認められていて、不正なく普通選挙が行われています。この2つの条件を満たしている国を「自由民主主義（リベラル・デモクラシー）」の国と言います。また、現在の日本は経済活動においては市場経済を基本に経済運営を行っている資本主義体制の国です。自由民主主義や資本主義は皆さんにとっては空気のように「あって当たり前のもの」かもしれませんが、歴史的、地理的な広がりを持って世界史を見てみると、全然そうではありません。どういう歴史的経緯で人類がこれらの政治制度、経済体制を持つようになったかを知ることは非常に重要です。 この講義では、近代市民革命（イギリスのピューリタン革命・名誉革命、アメリカ独立革命、フランス革命）の時代から人類がどのような歴史の経緯を経て、これらの政治制度、経済体制を得ていったかを考えてみましょう。 同時に地理的にも広く現在の世界を見てみましょう。世界には自由民主主義、資本主義の国はどれくらいあるでしょう？意外と少ないことに気がつくはずです。 皆さんが歴史的かつ地理的に視野を広げて政治、経済、歴史、国際政治の問題を考察する視野を持てるようになることがこの講義の目標です。 そういう視野を持って、現在の日本が直面している問題についても考えてみましょう。	
授業の目的 ①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題を考察できるようになること。（DPのb. 知識・理解に対応） ②読書の面白さを感じて欲しい。	
到達目標	
①歴史的かつ地理的に視野を広げて、政治、経済、歴史・国際政治の問題をとらえられるようになること。 ②読書の習慣を始めること。	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス	
第1回 近代以前の統治（強者の支配）と近代市民革命 第2回 19世紀 自由主義 第3回 19世紀 資本主義経済の発展、帝国主義、社会主義、共産主義、ナショナリズム 第4回 つづき アヘン戦争～アジアの植民地化、幕末～明治維新～日本の近代 第5回 つづき 第6回 20世紀 戦争と革命の世紀 第7回 第1次世界大戦 第8回 つづき 第9回 戦間期 第10回 つづき 第11回 第2次世界大戦 第12回 日中戦争、アジア・太平洋戦争 第13回 つづき 第14回 つづき 第15回 まとめ 講義中にかなりの数の課題図書を指定するので、読んで欲しい。大学の勉強は「講義を聴いて試験でそれを答案に書けばいい」という受動的なものだけではない。自ら読書をする習慣を大学1年生の前期から身に付けて欲しい。 また、読書が結構面白いものだということを感じて欲しい。 この科目は全回対面授業を行う。ただし、状況によっては全てまたは一部の回の授業形態を遠隔配信へと変更する可能性がある。 予習は必要ありませんが、復習として講義で配布したプリントを1時間くらいかけてよく読み返して下さい。	
教科書・参考書等 半藤一利『昭和史 1926-1945』（平凡社文庫）は講義中にも読むので必ず購入すること。	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 3ヶ月半ほどで課題図書をよく読んでおいて欲しい。	

授業科目名 現代企業論 Contemporary Business	時間割 6月12日(木)～7月31日(木) 毎週木曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回) 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
担当教員名 張 曉紅	
学習時間 講義90分×15回+自学自習(準備学習13時間+事後学習39時間)	
授業の概要 本講義では、企業はいかなる形態をもつのか、どのように経営活動を行っているのか、現代企業の社会における責任とはなにか、などの問題について学習する。	
授業の目的 ①「企業」という組織形態に対する認識を高めつつ、企業統治(コーポレート・ガバナンス)、企業と社会との関係の知識を得る。 ②日頃企業に関するさまざまな話題に関心を持ち、講義内容とリンクさせて思考する習慣をつけること。	
到達目標 ①現代企業に関わる基礎的知識と理論が習得できる。 ②新聞やニュースなど、日常的に接する現代企業の話題を講義内容とリンクさせて思考し、分析することができる。	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス	
※ 講義方式は対面です。 【授業計画】 1. ガイダンス：現代企業論講義で何を学ぶか？ 2. 財・サービスを提供する機関としての企業①企業の成長と豊かな社会 3. 財・サービスを提供する機関としての企業②長寿企業 4. 財・サービスを提供する機関としての企業③企業の製品戦略 5. 「株式会社」としての企業①企業の諸形態 6. 「株式会社」としての企業②株式会社の機能と構造 7. 「株式会社」としての企業③株式会社の現実 8. 「大企業」としての企業①会社は誰のものか：アメリカの場合 9. 「大企業」としての企業②会社は誰のものか：日本の場合 10. 「大企業」としての企業③大企業の支配の構造 11. 「家」としての日本企業①日本型株式会社制度の実態 12. 「家」としての日本企業②運命共同体としての日本企業(日本型人事システム) 13. 「家」としての日本企業③「家」の論理のゆくえ(揺らぐ日本的経営) 14. 「社会的器官」としての企業①理論からのアプローチ 15. 「社会的器官」としての企業②現状 【授業及び学習の方法】 授業は講義中心に進めますが、授業中に課題を課し提出してもらいます(任意提出。詳細はガイダンスにて)。 【自学自習のためのアドバイス】 (1) 第2回目～第15回目： ①準備学習について(1時間×13回) 事前に配布されたレジュメや教科書に基づいて、事実、基本概念などを自ら調べて把握しておく。 ②事後学習について(3時間×13回) 授業内容をしっかり理解したうえ、良質な情報源も活用し、幅広くかつ深く探求することに努める。	
教科書・参考書等 教科書：指定なし。レジュメを配布する。 参考書：①佐久間信夫編著『よくわかる企業論』第2版、ミネルヴァ書房、2016年、2700円 ②加護野忠雄等編著『取引制度から読みとく現代企業』有斐閣アルマ、2018年、2000円 ③加護野忠雄等編著『コーポレート・ガバナンスの経営学』有斐閣、2010年、2400円	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業の進捗状況により、計画からすこし変更になる場合があります。 授業に関する教員からのお知らせはMoodleに掲載しています。定期的に確認してください。	

授業科目名 (特) ゲーム理論 Special Lecture	時間割 6月10日(火)～8月5日(火) 毎週火曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回) 7月29日(火)は特別授業予備日で、授業はありません。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
担当教員名 天谷 研一	
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習(準備学習 30時間 + 事後学習 30時間)	
授業の概要 ゲーム理論の基礎を講義します。 社会は多様な人々によって構成され、人々の間には利害関係があり、個々人の行動はお互いに影響を及ぼしあっています。このような社会では、人々は自分の行動が他人にどう影響するか考えたり、他人がどのような行動をするか予想したりしながら意思決定をする必要があります。このような「戦略的な意思決定」、すなわち「駆け引き」を分析することによって社会への理解を深めようとするのがゲーム理論という学問です。 駆け引きを行うのは個人だけではありません。ビジネスの場では企業同士、政治の場では政党同士、国家同士が駆け引きを行っています。現代の社会や経済を理解するにはゲーム理論的な視点が不可欠といっても過言ではないでしょう。 この講義では、経済問題の分析などの応用例も取り入れながら、ゲーム理論の基本的な考え方を紹介していきます。	
授業の目的 経済主体が相互依存関係下でいかなる意思決定を行うか、ミクロ経済学とゲーム理論の観点から理解する。	
到達目標 ・ 戦略形ゲーム・ナッシュ均衡・展開形ゲーム・部分ゲーム完全均衡・不完全情報などのゲーム理論の基礎概念がどのようなものであり、どのような経済問題の分析に用いることができるのか説明できる	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス	
【授業計画】 第1回 ゲーム理論とはどんな学問か 第2回 戦略形ゲーム・ナッシュ均衡とその応用(1) 第3回 戦略形ゲーム・ナッシュ均衡とその応用(2) 第4回 戦略形ゲーム・ナッシュ均衡とその応用(3) 第5回 時間を通じたゲーム(1) 第6回 時間を通じたゲーム(2) 第7回 時間を通じたゲーム(3) 第8回 長期的関係と協調(1) 第9回 長期的関係と協調(2) 第10回 不完備情報のゲームとオークション(1) 第11回 不完備情報のゲームとオークション(2) 第12回 不完備情報のゲームとオークション(3) 第13回 時間を通じた情報伝達(1) 第14回 時間を通じた情報伝達(2) 第15回 まとめ 授業計画は、受講生の理解度をみて必要があれば変更する場合があります。	
【授業及び学習の方法】 授業は主に板書およびプロジェクタ投影を使用した講義形式で行います。授業中に適宜、仮想取引などの体験実習や問題演習を行います。また宿題として演習問題を課します。	
【自学自習のためのアドバイス】 予習は必ずしも必要ではありませんが、毎回復習してわからないことをなくすことと、宿題を解いて理解を深めることが必要となります。	
【授業形態】 この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔に変更する可能性があります。	
教科書・参考書等 天谷研一(著)『図解で学ぶゲーム理論入門』、2011年、日本能率協会マネジメントセンター、1500円+税 岡田章(著)『ゲーム理論・入門(新版)』、2014年、有斐閣、1900円+税	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 1. 基礎的なミクロ経済学の知識(効用関数、需要と供給など、ミクロ経済学Ⅰで学習した程度)があることが望ましいですが、まだ学習していない場合でも、必要に応じて多少自習する意欲があれば、履修可能です。 2. 授業内容は連続しているため、前回までの内容をしっかり理解していないとついていけなくなります。 3. その他の注意事項は、初回授業時に指示します。	

授業科目名 経済学入門B Introduction to Economics B	時間割 6月16日(月)～8月4日(月) 毎週月曜日 18時00分～19時30分 19時40分～21時10分(1日2回、計15回)
担当教員名 沖 公祐	7月21日(月)は祝日ですが月曜日の授業日で、授業はあります。 初回はガイダンスを行いますので、開始20分前に大学会館2階(10ページ参照)にお越しください。
学習時間 講義90分×15回+自学自習(事後学習60時間) ※授業内で実施するグループワークに加え、自学自習についてもグループワークでの課題を含む可能性があります。	
授業の概要 政治経済学(マルクス経済学)の方法に基づき、資本主義の原理についての基礎的な講義を行なう。資本主義とは、市場を中心とした経済システムである。このような経済システムは普遍的なものではなく、資本主義以前には、市場は社会の付属物にすぎなかった。資本主義は、歴史上のある時点に成立した特殊な経済システムなのである。たとえば、店頭に並んでいる商品や財布のなかの貨幣は、一見すると、当たり前のように見えてくる。しかし、資本主義を特殊歴史的なシステムとして捉えるならば、決して自明のものでないことが分かってくる。この講義では、商品、貨幣、資本などの資本主義の諸要素を当然の前提とするのではなく、「なぜ商品には価格がつくのか」、「市場に貨幣が存在する理由は何か」、「資本はどのようにして利潤をあげることができるのか」といった一見単純だが、決して簡単ではない問題についてじっくりと考えていく。	
授業の目的 政治経済学(マルクス経済学)の基本的な考え方を身につけ、現実経済を理解するための理論的素地を作り上げる。	
到達目標 1. 資本主義の特徴を述べることができる。 2. 政治経済学の方法と基本的概念を説明することができる。 3. 剰余価値の発生メカニズムを論理的に述べることができる。 4. 資本主義的市場における価格決定メカニズムを説明することができる。	
授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス この科目は対面で行います。 板書および口述筆記による。 1. イントロダクション 2. 政治経済学の対象(1)―資本主義とは何か 3. 政治経済学の対象(2)―資本主義の変容 4. 商品とは何か 5. 貨幣の機能 6. 資本の形式 7. 労働と生産(1)―労働過程 8. 労働と生産(2)―生産過程 9. 価値形成・増殖過程(1)―価値形成過程 10. 価値形成・増殖過程(2)―価値増殖過程 11. 剰余価値の生産 12. 資本主義的生産方法 13. 資本の蓄積 14. 資本の競争(1)―利潤率の均等化 15. 資本の競争(2)―生産価格 【授業及び学習の方法】 スライドおよび口述筆記による。この授業は対面で行う。 【自学自習のためのアドバイス】 各授業中に作成した自筆ノートを用いた復習(1時間)を行うこと。	
教科書・参考書等 教科書：使用しない 参考書：小幡道昭『経済原論』(東京大学出版会) 沖公祐『「富」なき時代の資本主義―マルクス『資本論』を読み直す』(現代書館)	
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 本年度の経済学入門Bでは、政治経済学(マルクス経済学)を扱い、いわゆるマクロ経済学は扱わない。マクロ経済学の学習を希望する学生は、来年度以降の経済学入門Bを履修されたい。	

令和7年度行事予定表（昼間）

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	30	31	1 第1学期開始	2 入学式 (例年4/3)	3 新入生ガイダンス	4 新入生ガイダンス	5
	6	7 新入生修学相談会 新入外国人留学生ガイダンス	8 新入生健康診断 新入生修学相談会	9 新入生修学相談会 新入生歓迎祭	10 授業開始 (第1学期・第1クォーター)	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	1 振替授業(火)	2	3
5月	4	5	6	7	8	9 振替授業(火)	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
6月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10 授業開始 (第2クォーター)	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2	3	4	5
7月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21 授業日(月)	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
8月	3	4 DRG検定	5	6 夏季休業～9/30	7 オープンキャンパス (看護学科)	8 オープンキャンパス (看護学科)	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
9月	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30 第1学期終了				

(注1) 7/21(月・祝)を授業日とする。

(注2) 土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

(注3) 7/25(金)～27(日)の間、幸町北キャンパスにおいて全国高等学校総合文化祭が開催(25日は設営)される。この間、授業や補講授業を実施できなかった幸町北キャンパスで開講される科目のために、7/29(火)を特別授業予備日とする。

(注4) オープンキャンパス：8/7は医学部看護学科、8/8は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土
10月				1 第2学期開始 大学記念日	2 授業開始(第2学期・第3クォーター)	3	4 新入外国人留学生ガイダンス
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14 振替授業(月)	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24 大学祭前夜祭 (臨時休業)	25
	26	27 大学祭撤収日 (臨時休業)	28	29	30 振替授業(月)	31	1 大 学 祭
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24 授業日(月)	25	26	27	28	29
12月	30	1	2	3 授業開始(第4クォーター)	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25 冬季休業～1/7	26	27
1月	28	29	30	31	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14 振替授業(月)	15 振替授業(金)	16 入試会場設営 (臨時休業)	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
2月	1	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13 振替試験(水) 振替授業(水)	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	32	33	34	35	36
3月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11 春季休業～3/31 入試会場設営	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25	26	27	28
	29	30	31 第2学期終了				

(注1) 11/24(月・祝)を授業日とする。

(注2) 土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

令和7年度行事予定表（法・経済学部夜間主コース）

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土
4月	30	31	1 第1学期開始	2 入学式(例年4/3)	3 新入生ガイダンス	4 新入生ガイダンス	5
6	7 新入生修学相談会	8 新入生修学相談会 新入外国人留学生ガイダンス	9 新入生健康診断 新入生修学相談会	10 授業開始(第1学期)	11	12	
	第1学期履修登録期間 ～4/8 13時まで (抽選)		第1学期履修登録期間 4/1～4/8 13時まで (ただし令和7年度新入生は4/3～4/8 13時まで)				
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
	履修登録取消申請期間		履修登録取消申請期間				
27	28	29	30	1 振替授業(火)	2	3	
4	5	6	7	8	9 振替授業(火)	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	
	授業予備日(注)						
6月	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24	25	26	27	28	29
	履修登録取消申請期		履修登録取消申請期				
7月	29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21 授業日(月)	22	23	24	25	26	
	授業予備日(注)						
8月	27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	31
	特別授業予備日		第1学期定期試験(後半)期間				
	第1学期定期試験(後半)期間		授業・定期試験予備日				
	授業・定期試験予備日		軟体員夏季一斉休暇取得促進期間				
9月	31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	28
	第2学期履修登録期間 9/17～24 13時まで		第2学期履修登録期間 9/17～24 13時まで				
	第2学期履修登録期間 9/17～24 13時まで (抽選)		履修登録予備日				
28	29	30	第1学期終了				

(注1)7/21(月・祝)を授業日とする。

(注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

(注3)7/25(金)～27(日)の間、幸町北キャンパスにおいて全国高等学校総合文化祭が開催(25日は設営)される。この間、授業や補講授業を実施できなかった幸町北キャンパスで開講される科目のために、7/29(火)を特別授業予備日とする。

(注4)オープンキャンパス:8/7は医学部看護学科、8/8は医学部医学科(午前)・臨床心理学科(午後)・他の学部

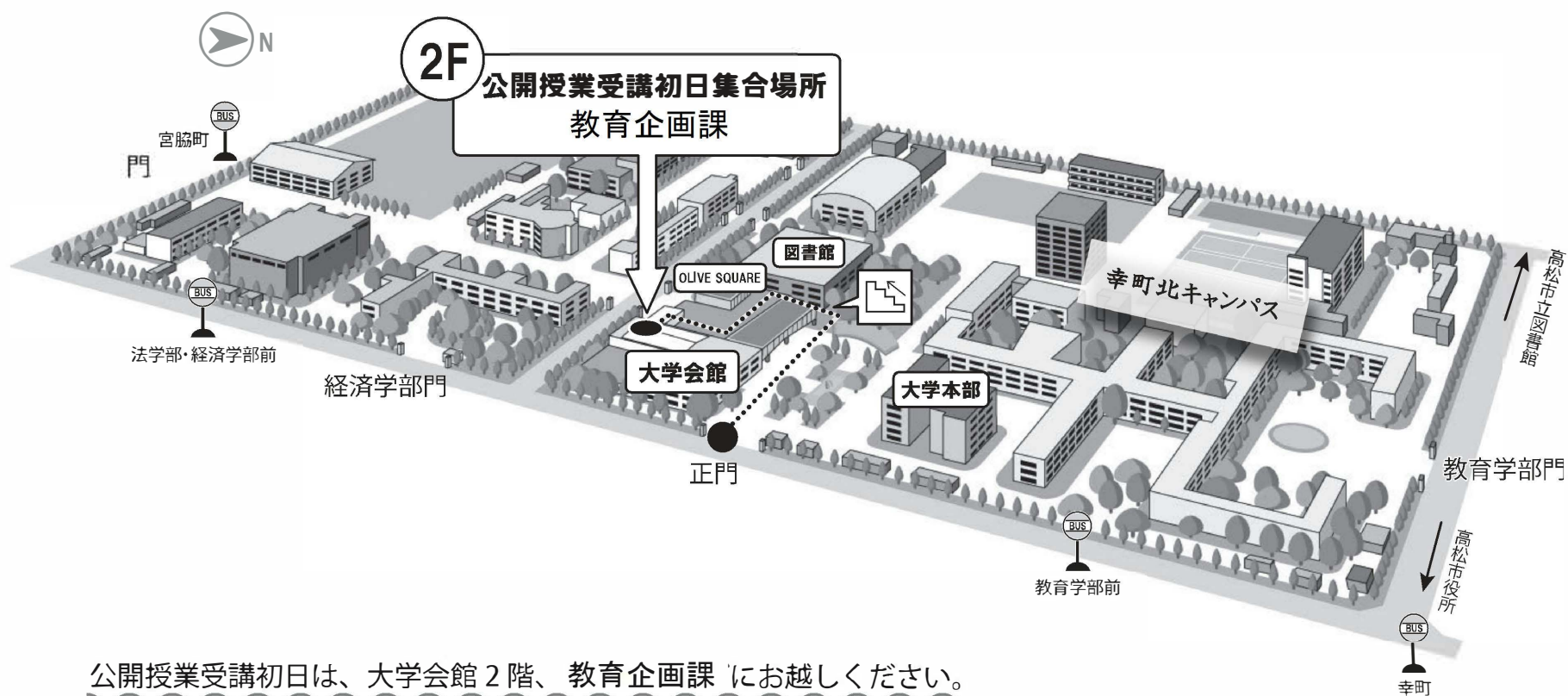
第2学期

	日	月	火	水	木	金	土
10月				1 第2学期開始 大学記念日	2 授業開始(第2学期)	3	4 新入外国人留学生ガイダンス
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14 振替授業(月)	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24 大学祭前夜祭 (臨時休業)	25	26 大 学 祭
26	27 大学祭撤収日 (臨時休業)	28	29	30 振替授業(月)	31		
2	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	23
23	24 授業日(月)	25	26	27	28	29	30
	第2学期定期試験(前半)期間		第2学期定期試験(前半)期間				
30	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25 冬季休業～1/7	26	27	28
1月	28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14 振替授業(月)	15 振替授業(金)	16 入試会場設営 (臨時休業)	17	18
18	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	2
	大学入学共通テスト		大学入学共通テスト				
			授業予備日(注)				
2月	1	2	3	4	5	6	7
9	10	11	12	13 振替試験(水)	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24 入試会場設営	25	26	27	28	29
	入学者選抜試験(前期)		入学者選抜試験(前期)				
3月	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 春季休業～3/31 入試会場設営	12	13	14	15
15	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24 卒業式 (毎年3/24)	25	26	27	28	29
29	30	31 第2学期終了					

(注1)11/24(月・祝)を授業日とする。

(注2)土曜日の授業(・定期試験)予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業に限り、補講を実施するものとする。

香川大学幸町キャンパスマップ



公開授業受講初日は、大学会館 2 階、教育企画課 にお越しください。

高校生を対象とした公開授業及び体験授業に係る受講生・保護者連絡先

受 講 生 氏 名	
受 講 生 電 話 番 号	
受講生メールアドレス	
保 護 者 氏 名	
保 護 者 連 絡 先 (電話番号・メールアドレス)	

※携帯等のメールアドレスは大学（パソコン）からのメールが届かない可能性もありますので、パソコンやWebのアドレスをお持ちでしたら、携帯等のアドレスと併せてご記載ください。

香川大学から受講決定の通知がありましたら、受講初日にこの用紙と受講料をお持ちください。（公開授業は1科目につき、「15 及び 16 回の授業は 2,300 円」、「8 回の授業は 1,800 円」。体験授業は無料。）

なお、上記の個人情報は、香川大学が高校生対象公開授業及び体験授業の実施に当たり必要な範囲において利用させていただきます。それ以外の目的に利用することはありません。